

やまぶき 山吹地区

熊本県阿蘇郡産山村

山吹地区は、阿蘇北外輪の標高600～700mにあり、乙宮、小迫、笹鶴の3集落で構成されています

中山間農業モデル地区の認定年度 : H30(2018). 8
モデル地区農業ビジョンの作成年度 : H31(2019). 3



牛の放牧、山吹水源からの水路、クヌギの木、棚田が山吹地区の農業の姿です。牛を放牧し、野焼きをするからクヌギが育ちます。昔からある自然と農業の循環システムを守り、次世代につなぐための活動を進めています。



牧野の維持・管理

作業の効率化と人材育成が課題です。大きくなりすぎた木の伐採は、野焼きのためにも必要です。急傾斜での作業は重労働で、危険も伴います。伐採したクヌギはシイタケ栽培に利用しています。



10年後を見据えた田畑・農道の基盤整備

自生するクヌギ林に囲まれた棚田は、細かく区切られているので作業が大変な場所です。山吹水源から引いている水路の管理や獣害対策も必要です。

一流の田舎を目指そう！

～ 夢を未来に やまぶきの里 ～



農事組合法人「やまぶきの里」

平成27(2015)年に設立しました。理事5名、組合員2名、顧問2名で、定例会を毎月1回行っています。



山吹ブランドの確立

シイタケ・米・畜産は昔ながらの山吹の主産業です。シイタケ栽培は山吹の土地にあり、乾燥用の品種を栽培しています。米とともにブランド化や販路開拓に取り組み、収益向上を目指していきます。



農業所得の向上

新規作物(コンニャク芋)の導入を検討し、新たな地域特産品の開発を進めています。加工施設や販売施設の整備を進め、観光資源を活かした販売体制づくりを進めていきます。



交流事業「お山のうさぎ学校」

子ども達を対象に産山のいとなみや自然、食などの知恵や技術を学び、体験することを目的として開催しています。秋の「収穫祭」では、地区内外の人との交流を図っています。